

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年3月13日 (2014.3.13)

【公表番号】特表2013-517823(P2013-517823A)

【公表日】平成25年5月20日 (2013.5.20)

【年通号数】公開・登録公報2013-025

【出願番号】特願2012-549411(P2012-549411)

【国際特許分類】

A 6 1 J 7/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 J 7/00 H

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月21日 (2014.1.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

水分補液を供給するための装置であって、
 ユーザーからの信号を受信するための信号受信デバイス、及び
 前記ユーザーからの信号を受信する前記信号入力デバイスに応答して、第 1 の供給基準が満たされているか判定するよう設計されたコントロールユニットを含み、
 前記第 1 の供給基準が経口摂取用水分補液の供給履歴に基づき、
 前記装置が、前記コントロールユニットが前記第 1 の供給基準が満たされると判定する場合に経口摂取用水分補液の既定の計量した量が供給されるよう設計され、
前記コントロールユニットが、前記ユーザーからの前記信号を受信する前記信号入力デバイスに
応答し、第 2 の供給基準が満たされているか判定するようさらに設計され；
前記第 2 の供給基準が静脈内送達用水分補液の供給履歴に基づき、かつ
前記装置が、前記第 2 の供給基準が満たされると判定する場合、既定の計量された量の
静脈内送達用水分補液が供給されるようさらに設計されることを特徴とする、前記装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の装置であって、
 前記コントロールユニットが第 1 の既定の期間内に前記の経口摂取用水分補液の既定の計量した量が何回供給されたか測定するようさらに設計されることを特徴とし、かつ
 前記コントロールユニットが前記第 1 の既定の期間内における前記経口摂取用水分補液が供給された前記回数が第 1 の既定の回数よりも少ないと判定する場合に前記第 1 の供給基準が満たされると判定するよう設計されることを特徴とする前記装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の装置であって、前記経口摂取用水分補液の既定の計量した量が 20 mL 以下であり、かつ好ましくは 10 mL 以下であり、かつより好ましくは 5 mL 以下であることを特徴とする前記装置。

【請求項 4】

請求項 1 ないし 3 のいずれか一項に記載の装置であって、
 前記コントロールユニットが第 2 の既定の期間内に前記静脈内送達用水分補液の既定の計量した量が何回供給されたか測定するようさらに設計され、かつ
 前記コントロールユニットが前記第 2 の既定の期間内における前記静脈内送達用水分補

液が供給された回数が第 2 の既定の回数よりも少ないと判定する場合に前記第 2 の基準が満たされると判定するよう設計されることを特徴とする前記装置。

【請求項 5】

請求項 1 ないし 4 のいずれか一項に記載の装置であって、

前記コントロールユニットが、前記ユーザーからの前記信号を受信する前記信号入力デバイスにตอบสนองして、既定の計量した量の経口摂取用水分補液が供給されてからの時間の長さを測定するようさらに設計され、かつ

前記の測定した時間の長さが既定の時間の長さを下回る場合に前記第 1 の供給基準が満たされないと判定するよう前記コントロールユニットが設計されることを特徴とする前記装置。

【請求項 6】

請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 項に記載の装置であって、

前記コントロールユニットが、前記ユーザーからの前記信号を受信する前記信号入力デバイスにตอบสนองして、第 3 の既定の期間内に供給された補液の総量を測定するようさらに設計され、かつ

前記第 3 の既定の期間内に供給された前記の補液の総量が既定の補液の量を上回る場合に前記第 1 の供給基準が満たされないと判定するよう前記コントロールユニットが設計されることを特徴とする前記装置。

【請求項 7】

請求項 1 ないし 6 のいずれか 1 項に記載の装置であって、前記装置が静脈内送達用水分補液のバックグラウンド流量を供給するようさらに設計されることを特徴とする前記装置。

【請求項 8】

請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載の装置であって、更に、ユーザーが信号を送信するために操作することのできる、スイッチを含むマウスアセンブリを含む、前記装置。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の装置であって、前記スイッチが口で操作できることを特徴とする前記装置。

【請求項 10】

請求項 8 又は請求項 9 に記載の装置であって、前記スイッチが圧力スイッチであることを特徴とする前記装置。

【請求項 11】

水分補液を供給するための装置であって、

ユーザーからの信号を受信するための信号受信デバイス、及び

前記ユーザーからの信号を受信する前記信号入力デバイスにตอบสนองして、第 1 の供給基準が満たされているか判定するよう設計されたコントロールユニットを含み、

前記コントロールユニットが前記第 1 の供給基準が満たされると判定する場合に経口摂取用水分補液の既定の計量した量が供給されるよう設計され、

前記コントロールユニットが、前記ユーザーからの前記信号を受信する前記信号入力デバイスにตอบสนองし、第 2 の供給基準が満たされているか判定するようさらに設計され；

前記装置が、前記第 2 の供給基準が満たされると判定する場合、既定の計量された量の静脈内送達用水分補液が供給されるようさらに設計され、かつ、

前記コントロールユニットが、前記ユーザーからの信号を受信する前記信号入力デバイスにตอบสนองして、既定の期間内に供給された補液の総量を測定するよう設計され、かつ、

前記コントロールユニットが、前記既定の期間内に供給された前記の補液の総量が既定の補液の量を上回る場合に前記第 1 及び / 又は前記第 2 の供給基準は満たされないと判定するよう設計されることを特徴とする前記装置。

【請求項 12】

水分補液を供給するための方法であって、

ユーザーからの信号にตอบสนองして、第 1 の供給基準が経口摂取用水分補液の供給履歴に基

づいている、前記第 1 の供給基準が満たされているか判定すること、

前記第 1 の供給基準が満たされると判定された場合、既定の計量された量の経口摂取用水分補液を供給すること、

前記ユーザーからの前記信号に応答して、第 2 の供給基準が静脈内送達用水分補液の供給履歴に基づく、前記第 2 の供給基準が満たされているか判定すること、及び、

前記第 2 の供給基準が満たされると判定された場合、前記方法が既定の計量された量の静脈内送達用水分補液を供給することを含む、前記方法。

【請求項 13】

請求項 12 に記載の方法であって、

前記第 1 の供給基準が満たされているか判定することが既定の期間内に供給された補液の総量を測定することをさらに含み、かつ

前記既定の期間内に供給された前記の補液の総量が既定の補液の量を上回る場合に前記第 1 の供給基準は満たされないことを特徴とする前記方法。

【請求項 14】

請求項 12 又は請求項 13 に記載の方法であって、静脈内送達用水分補液のバックグラウンド流量を供給することをさらに含む前記方法。

【請求項 15】

請求項 12 ないし 14 のいずれか 1 項に記載の方法であって、

前記ユーザーからの前記信号がマウスアセンブリの一部を形成するスイッチを介して提供され、かつ前記経口摂取用水分補液が前記マウスアセンブリを経て供給されることを特徴とする前記方法。

【請求項 16】

請求項 15 に記載の方法であって、前記スイッチが口で操作できることを特徴とする前記方法。

【請求項 17】

水分補液を供給するための方法であって、

患者からの信号に応答して、第 1 の供給基準が経口摂取用水分補液の供給履歴に基づいている、前記第 1 の供給基準が満たされているか判定すること、

前記第 1 の供給基準が満たされると判定された場合、既定の計量された量の経口摂取用水分補液を前記患者に経口的に供給すること、

前記患者からの前記信号に応答して、第 2 の供給基準が静脈内送達用水分補液の供給履歴に基づく、前記第 2 の供給基準が満たされているか判定すること、及び、

前記第 2 の供給基準が満たされると判定された場合、前記方法が既定の計量された量の静脈内送達用水分補液を前記患者に静脈内に供給することを含む、前記方法。

【請求項 18】

水分補液を供給するための方法であって、

ユーザーからの信号に応答して、第 1 の供給基準が満たされているか判定すること、

前記第 1 の供給基準が満たされると判定された場合、既定の計量された量の経口摂取用水分補液を供給すること、

前記ユーザーからの前記信号に応答して、第 2 の供給基準が満たされているか判定すること、及び、

前記第 2 の供給基準が満たされると判定された場合、前記方法が既定の計量された量の静脈内送達用水分補液を供給することをさらに含み、

既定の期間内に供給された補液の総量が既定の補液の量を上回る場合、前記第 1 及び / 又は前記第 2 の供給基準は満たされないと判定する、前記方法。

【請求項 19】

水分補液を供給するための方法であって、

患者からの信号に応答して、第 1 の供給基準が満たされているか判定すること、

前記第 1 の供給基準が満たされると判定された場合、既定の計量された量の経口摂取用水分補液を前記患者に経口的に供給すること、

前記患者からの前記信号に応答して、第 2 の供給基準が満たされているか判定すること、及び、

前記第 2 の供給基準が満たされると判定された場合、前記方法が既定の計量された量の静脈内送達用水分補液を前記患者に静脈内に供給することをさらに含み、既定の期間内に供給された補液の総量が既定の補液の量を上回る場合、前記第 1 及び / 又は前記第 2 の供給基準は満たされないと判定する、前記方法。